

空調設備改修工事設計概要書

○以下の工事を行うための実施設計を行う。

1. 目的

平成 11 年に竣工以来 19 年が経過している。これまでも空調機器の維持管理は行ってきたが、使用や時間的経過による劣化・損耗などが顕著となっており、機器による相違はあるものの、故障及び修繕回数も多く、対応部品の供給も難しくなっている。

このことから、施設機能を保つため、空調機器の更新を行う。

2. 施設概要

名 称：磯部地域福祉センター

建築年度：平成 11 年

構 造：RC 造 1 階建

延べ面積：2,843 m²

既設設備概要：8 系統 内機 49 台

3. 設計内容

- 設計積算
- 仮設計画
- 概略工程表
- 設計図作成
- 空調設備の容量及び熱源検討

※上記、内容の与条件

◇ 空調設備設置設計

◇ 上記設計に付随する設計

＊仮設計画

＊電気設備工事（EHP の場合、受電設備及び幹線設備改修も含む）

＊ガス設備工事（GHP の場合）

＊配管、基礎及びフェンス工事

＊イニシャルコスト（ガス引込等）、受変電設備更新等及びランニングコスト等総合的に比較検討すること、また室内条件の変化に伴う負荷計算を行う。

◇ 上記施設の既設設備機器等の仕様、能力及び諸条件の調査

4. その他

- 調査を基に既設ききの状況を把握したうえで設計を行い、施工時に支障のないようにすること。
- 地域福祉課及び施設管理者の意見を十分反映した設備の設置を行う。
- ライフサイクルコストを意識した機種選定を行うこと。
- 設備機器等の仕様は、安全性、使いやすさ及び環境（特に塩害対策）に配慮すること。
- 工事発注年度による単価入替等の業務を見据え見積もり徴収を行うこと。

※その他、詳細は打合せにより監督職員との協議による。